

## さんご礁魚類



△  
沖縄では4月ごろから  
産卵期に入り、浮遊卵や  
プランクトン生活をする  
仔稚魚の中には、黒潮に  
取り込まれて北へと運  
ばれるものもいる。紀南  
毎秋、その年生まれの  
さんご礁魚類の幼魚に  
入れ替える40-3号水  
槽。キリンミノもその  
一種

面水温が2、3日続くと、  
経験的には12度台の表

認められている。  
これらの幼魚たちは岩礁  
やその周辺で暮らして成  
長する。しかし、間もなく  
悲劇的な結末を迎える  
ことになる。ほとんどは  
冬季の低水温に耐えられ  
ず死んでしまうのだ。季  
節風が吹き荒れる日が続  
くと、北西に開けた海岸  
には多数の幼魚が打ち上  
がることもある。

が捕れた」と水族館に連  
絡が入ることも多い。  
紀南沿岸は、さんご礁  
魚類の生息域の拡大にと  
つて、最前線に近い微妙  
な位置にあると言える。  
このまま地球温暖化が進  
行し、冬季の海水温が1、  
2度上昇しただけでも、  
さんご礁魚類の成魚の割  
合が急に増えるかもしれません。

(京都大学技術職員)

## 水族館へ行こう!

## 京都大学白浜水族館

夏から初冬にかけて、  
紀南沿岸の岩礁地帯は力  
ラフルなさんご礁魚類の  
幼魚たちでにぎやかだ。  
その様子は漁港の岸壁や  
波止場からでも垣間見る

ことができる。トゲチョ  
ウチヨウウオやハタタテ  
ダイ、オヤビッチャなど、  
派手な装いをした小魚を  
発見できるだろう。

「さんご礁魚類」には特

に明確な定義はないが、  
普通、さんご礁を舞台に

島で、600種以上も確  
認された。ほとんどの沖縄県の小  
島で、600種以上も確

21

## 山本 泰司

して生活する魚類すべて  
を指す。代表的な科は、  
ペラ、スズメダイ、ハゼ、  
ハタ、チョウチョウウオ  
などだ。種数が多く、周  
囲8キロほどの沖縄県の小  
島で、600種以上も確

認されている。  
沿岸で見られるさんご  
礁魚類の多くは、このよ  
うにして琉球列島などか  
ら黒潮に乗って流されて  
きたものと考えられてい  
る。

水温が高い夏～晚秋、  
が釣れたり、網にかかつ  
たりして「見慣れない魚

が死滅するようだ。ところ  
が13度以下にならない  
冬もあって春には越冬  
した幼魚が何種類も見ら  
れることがある。このよ  
うな暖冬の年が続くと、  
繁殖サイズに達した成魚

## 悲劇的な終末待つ魚